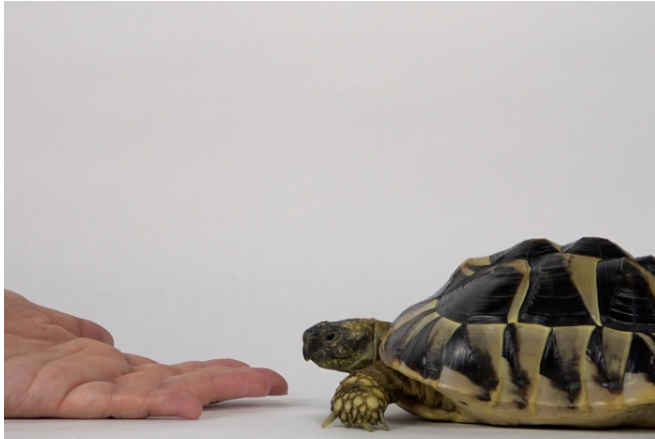


2024年6月18日
国立大学法人東京藝術大学**東京藝大×JR東日本 上野駅「CREATIVE HUB UENO “es”」
岡崎未樹 個展「わたし かめ あなた」開催のお知らせ**左：《わたし かめ あなた》2024 ドキュメンタリー映画
右：《名前》2024 映像（4分06秒）

JR上野駅構内の「CREATIVE HUB UENO “es”」（2024年4月開設）では、東京藝大の各科より推薦されたアーティストの展示を開催しています。第3回は、大学院美術研究科修士課程先端芸術表現専攻を修了した岡崎未樹（おかざき みき）の初個展「わたし かめ あなた」を7月2日（火）から7月28日（日）まで開催します。

岡崎未樹は、「生と死」「看取り」「葬い」に興味をもち、他者との対話や行動を共にすることで、その人の意思や物語に触れたいと考え、主に映像作品を制作しています。本展では、ドキュメンタリー映画《わたし かめ あなた》を3つの短編映像にまとめ、オムニバス形式で展開します。

□展示作品

《見えかた》2024、映像（4分05秒）／《傷》2024、映像（1分28秒）／《名前》2024、映像（4分06秒）

□ドキュメンタリー映画《わたし かめ あなた》とは

岡崎が秋田市在住の菅原夫婦を2022年6月～2023年12月の約1年半追ったドキュメンタリー映画。夫の菅原睦実さんは出生時の事故による頸椎損傷のため車椅子で生活されて、2021年の2月に亡くなられました。睦実さんの死からひき起こされた、妻ののぞみさんの後悔や出来事、そして、睦実さんが亡くなられてからやってきたリクガメの「いんく」との関係。生と死、身体的ケアと心理的なケア、睦実さんの思いや人柄を傾聴し、睦実さんの人生を追うことで、亡くなった者への葬いと残された者の祈りのようなものを追います。

□推薦者のコメント

本ドキュメンタリー映画には撮影者と被写体の信頼関係が映っている。のぞみさんと岡崎は不在の人の声を聴き、睦実さんの見た視線で世界を捉えなおそうと試み、止まったままの記憶から一步を踏み出し旅に出る。かつて届かなかった場所でその声を発し再会した人々が少しずつ変わっていく様子、彼が残した言葉の意味を知りのぞみさん自身が新しく生きなおしていく姿をカメラは捉える。他者へと記憶を繋ぐ3人の協働制作で出来た映画である。

映像作家・東京藝術大学 美術学部 先端芸術表現科 准教授 山城知佳子

<開催概要>

- 展示会名：岡崎未樹 個展「わたし かめ あなた」
- 会期：2024年7月2日（火）～7月28日（日） □休場：月曜定休（祝日の場合は翌日に振替）
- 時間：11:00～19:00（最終入場18:45） □入場：無料 □ウェブサイト：<https://ueno-es.jp/>
- 会場：CREATIVE HUB UENO “es” 東京都台東区上野7-1-1（上野駅浅草口付近）

■岡崎未樹（おかざき みき） | 作家プロフィール



岡山県出身。

2021 秋田公立美術大学美術学部 美術学科アーツ&ルーツ専攻卒業

2024 東京藝術大学大学院美術研究科修士課程先端芸術表現専攻修了

主な受賞・展示歴

2021 秋田公立美術大学卒業・修了展「へば、」 学長奨励賞

2023 秋田公立美術大学開学 10 周年記念展「美大 10 年」

2024 第 72 回東京藝術大学卒業・修了作品展

□過去の作品

《大切だけどいずれ忘れてしまいそうな思い出や出来事を忘れないようにするための「まじない」をしようと思う》2022 年 映像

死の間際の走馬灯で思い返すのは、人生の転換期や大切な誰かとの思い出が主かと思う。しかし、走馬灯に出てこないような些細な会話が、大切でないとは思わないし、思いたくない。日常の小さな出来事や感情は、ほんの少しでも今の私の一部になっていると考える。そこで私は、「大切だけどいずれ忘れてしまいそうな思い出や出来事」をかき集めて、これからの思い出や出来事をふとした時に思い出せるように、「まじない」をかける。募集した計 10 人の方のエピソードを利根川の真ん中で朗読する。

川の中で朗読することにより、読み上げたものたちが忘れられないものに昇華させる試み。



《わたしたちはいつから死を認識したのだろうか?》2021 年 映像、絵本
 わたしたちはいつから死を認識したのだろうか。いつ自分の命は有限であることを知ったのだろうか。少しずつ断片的に理解し「死」として認識するのだろうか。「死」を認識していく過程で、私たちは「死」に対してなにを思い、どう想像を巡らせたのだろうか。

10 歳以下の子どもたちに自作の絵本を通して死生観を問う映像作品。



写真：横山渚

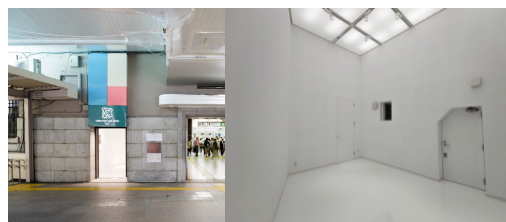


■CREATIVE HUB UENO “es”とは

東京藝大と JR 東日本の包括連携協定の第一弾として、上野駅の交番跡地をリノベーションし誕生したギャラリーです。

東京藝大の学生・卒業生の若手アーティストの作品を展示し、時代を映し出す芸術作品に触れ合う機会をつくります。また、上野駅全体を美術館に見立て、駅構内に点在するアート作品等をご案内し、多様な文化交流の場を創出していきます。

ギャラリー名の“es”（エス）とは、心理学用語で「無意識の領域」を指し、多様な欲望やエネルギーを内在し、小さくとも無限の表現領域を体現できるスペースを目指して命名しました。



【このプレスリリースのお問合せ】 CREATIVE HUB UENO “es” 運営事務局

東京都千代田区 6-12-5 長谷川ビル 2 階 東京ビエンナーレ事務局内
 電話：03-5816-3220 メール：info@ueno-es.jp （担当：宍戸・森田）